

021

地域社会史

地域社会のルーツから現代をフォーカスする

講座内容

わたしたちの身近にある地域社会には、どのような歩みと文化があるのかを垣間見ることで、わたしたちへ何かを語りかけています。今回は、地球沸騰時代ともいわれる猛暑のなかで、少しでも過ごしやすいように涼しくなる話(神話や民話などの怪談話)に視点をあてて、その地域社会の文化や風習から、わたしたちの生活への道標と明日へのヒントを模索していきます。

期 間	5月24日～7月5日	受講料	10,000円
曜 日	土曜日	定 員	20名
時 間	10:00～12:00	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全4回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回資料を用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容
1	5月24日(土)	裏切りは悲劇のはじまり 神話や民話には怪談話が言い伝えられています。小泉八雲や柳田国男、そして「安珍・清姫」の伝説にはじまる日本人の原罪を考えていきます。松江や姫路、遠野、紀州を取り上げます。
2	6月 7日(土)	戦い敗れて恨みあり 日本の三大怨霊(菅原道真、平将門、崇徳天皇)について太宰府や京都、千葉をとりあげて考察します。
3	6月21日(土)	後悔は後に絶たず 鎌倉殿も恐れた怨霊について都市としての鎌倉をとりあげて考察していきます。
4	7月 5日(土)	身勝手なお願いは不幸のはじまり 日本の三大怪談(四谷怪談、皿屋敷、牡丹燈籠)について江戸の長屋文化をとりあげて考察していきます。

講師紹介



加藤 壽宏(かとう としひろ)

本学国際文化学部非常勤講師

主要論文：「日本における公共事業と港湾・空港施設の現状と課題：社会資本整備と財政投融资を中心に」(日本港湾経済学会喜多村賞・奨励賞)、「近代日本経済と横浜港：渋沢栄一を中心に」、「近代日本経済と生野銀山：飾磨(姫路)港を介して見る銀の道」、「海と空の港大辞典」(分担執筆)ほか